

むさしこども園完成

園舎が完成し4月に開園する「むさしこども園」



美作市が2保育園統合 来月1日開園

美作市が大原地域の2保育園を統合し、武蔵の里に新築した「むさしこども園」(宮本)が完成した。木をふんだんに使い、ぬくもりのある雰囲気仕上げ、4月1日に開園する。未就園児と保護者の交流拠点として市内4カ所目の子育て支援センターを併設している。(平田知也)

木のぬくもりが感じられる保育室



敷地は6612平方メートル、園舎は木造平屋1398平方メートル。定員103人で、4月から85人が通う予定。年齢に応じた保育室6室、遊戯室などを設けている。絵本コーナーには高さ約3メートルのヒノキをシンボルツリーとして配置し、中央には中庭を設けて自然の光を取り入れる。厨房での調理の様子を見られるよ

ぬくもりある雰囲気 子育て支援センター併設

市内のこども園は、4月に移行する美作地域の美作北幼児園(檜原中)を合わせ、3園となる。

「大原保育園の移転は合併以来の課題で、いろんな方々の思いが詰まっている。子育ての課題にも向き合い、市の将来を担う子どもたちを育てたい」とあいさつ。大原保育園の浅尾めぐみ園長が「地域に見守られ、愛される園となるよう努力する」と謝辞を述べた。

落成式が22日に遊戯室で行われ、地域住民や園児代表ら約30人が出席。萩原誠司市長が「大原保育園の移転は合併以来の課題で、いろんな方々の思いが詰まっている。子育ての課題にも向き合い、市の将来を担う子どもたちを育てたい」とあいさつ。大原保育園の浅尾めぐみ園長が「地域に見守られ、愛される園となるよう努力する」と謝辞を述べた。

つ、大きめの窓を取り付けた。統合したのは、大原断層上付近にある大原保育園(古町、65人)と、大吉保育園(赤田、23人)。廃止した温浴施設・クアガーデン武蔵の里を解体し、2019年12月に着工、今年2月に完成した。総事業費は約7億8800万円。

新しい園で絵本読んでね

美作市の「むさしこども園」の開園を祝って、大原地域の保護者有志らのグループや地元企業は22日、子どもたちの健やかな成長を願って絵本と玩具を贈った。

統合する2園の保護者らでつくる「絵本で笑顔を贈る会」は家庭にある絵本の提供を呼び掛けたり、寄付(約23万円)で購入したりした絵本470冊を寄贈。船舶用エンジン部品製造のショウエイ(古町)と中国銀行大原支店(同)は、銀行が受け取る手数料を物品購入に充てる「SDGs 私募債・地域応援型」を活用して、乗り物や人形といった玩具9点と絵本セット(計約10万円相当)を贈った。

園内で行われた寄贈式には、贈る会の西浦康寛代表(46)と小深田かおり代表(44)、ショウエイの辻井修一社長(48)、同行の阿部宏支店長

保護者、地元企業贈る



絵本寄贈のお礼を述べる園児代表

(48)らが出席。大原保育園の浅尾めぐみ園長と大吉保育園の近江博子園長に目録を贈った。両園児の代表4人は「ありがとうございます」とお礼を述べ、式後には早速絵本を選んで読んでいた。

西浦代表は「仲良く読んでもらって、心優しく元気に育ってほしい」と話した。(平田知也)